



**SORAK Development Agency**  
Registered NGO: No:8726

UEB Zone, Church Road –Mullago; P.o Box, 71883 Clock Tower –Kampala; Tel: +256 703515225  
Mubende Office: Lusairi T/C, 16km from Mubende Town along Mubende –Fort portal Road



NPO法人グローバルブリッジネットワーク  
**Global Bridge Network**

## 生理で学校に行けなくなる女子学生の教育環境改善事業 (ウガンダ共和国)

活動期間：2019年7月～12月

**活動**：SORAK が生産している「Happy Pad」(再利用可能な生理用布ナプキン)を地域に繋げ普及させることを目的に、地域の女性ボランティア 40名を対象に布ナプキン作成トレーニングを実施した。

### 日時と場所

	日時	場所
1	2019年7月10日	カサアナ C/U 初等学校

### はじめに

ムベンデ県のプロジェクト対象地域にて、トレーニングを受けた地域の女性ボランティア 40名を動員し、SORAK の生理用布ナプキン「Happy Pad」を地域に繋げ普及させるよう始動した。

### 活動目的

- SORAK が生産する生理用布ナプキン「Happy Pad」を地域に繋げ普及させる事。
- 生理用布ナプキン「Happy Pad」の生産を地域主導で進め、持続的な活動にしていく事。

### 参加者

場所	男性/他	女性/他	合計
カサアナ C/U 初等学校	1名	39名	40名

### ファシリテーター

1. ナルワンガ・シャミン・ゴンベ：SORAK のプロジェクトコーディネーター
2. バビリエ・マリア・ゴレット：テイラー兼プロジェクトアシスタント

### 活動

参加者は下記の通り布ナプキン作りを学んだ。

- 生地を準備し採寸。
- 採寸した生地をカットし裁縫。
- 布ナプキン作成の手順に基づいておさらい。



ナプキン作成に必要な生地の準備



生地の採寸について説明



グループの代表者がメモを取っている



参加者が採寸にチャレンジ



縫い始める参加者



一人ずつ裁縫を行う



試作品を仕上げる



参加者の質問に答える SORAK のトレーナー

## 成果

1. 参加者は今回初めて布ナプキンという革新的なものについて知り、布ナプキンの使用についてもっと広く周知していくために SORAK と協力していく事を約束した。布ナプキンが周知されることで、SORAK の生産量の補てんにも寄与する。また、女性たち自身でも布ナプキンを生産する事で、カサアナのコミュニティにおける他の女性や女の子たちの月経時の衛生管理が改善し、感染を防ぐことにも繋がる。
2. SORAK が生産している布ナプキンを定期的に取り、それを普及させることに積極的に協力する意思のある女性達を選定し、選ばれた女性たちは、市場に布ナプキンを供給し、またそれぞれの女性グループのミーティングでも布ナプキンを販売していく。さらには、彼女たちの地域にある小売店にも供給することで、より多くの市場で生理用布ナプキン「Happy Pad」の販売を広げる事が可能になる。

## 主な課題

1. コミュニティのメンバーの中から、布ナプキンの材料を継続して買ってほしいとの要請があった。
2. 参加者の中には、未だに月経について話すのは恥ずかしい事だと感じていて、公の場で話し合うのをためらう者もいた。
3. 生理中の女子が布ナプキンを洗うための石鹸やトイレなど、月経の衛生に対する環境が整っていない家庭や学校が多々あることが今回のトレーニングを受けた女性を通して分かった。このような状況が生理に対するさらなる偏見や女子学生の中退を生み出してしまう。
4. 布ナプキン作成をプロジェクトとして取り組みたいと考える積極的なメンバーがいるにも関わらず、材料を購入する経済力がない。

## 提案

1. 地域のトレーニング終了後、布ナプキン作成をさらにビジネスとして取り組む意思のあるメンバーには、開業資金を提供する。
2. 学校内外の両方において、月経時の衛生管理の意識の啓発をもっとすべきである。
3. 月経時の衛生管理に関するプロジェクトがより多くの人に影響を与えられるように本プロジェクトをより広範囲に拡大する。

## 結論

今回トレーニングを受けた地域のボランティアは、教わった事に対して積極的な反応を示し、地域ベースで商品のマーケティング/販売に貢献するエージェントとして活躍できる姿勢を見せた。また、

最も弱い立場でとりわけ月経中は学校を欠席せざる負えないリスクを背負っていた自分たちの娘やコミュニティの女子の生活にインパクトをもたらす **SORAK** の素晴らしい活動に感謝でした。これは、生理が原因で学校にいけなくなる女子の環境を改善するというプロジェクトの目的に則している。

このように **Global Bridge Network** からの援助のおかげで月経時の衛生管理に関するプロジェクトが積極的に活動できることに、**SORAK** と地域コミュニティは心から感謝している。